

「マルファン症候群」に関する注意

マルファン症候群の外見上の特徴は高身長です。従って、長身者の多いバスケットボール選手においては、注意が必要です。

マルファン症候群とは、全身の結合組織（細胞と細胞をつなぐ組織）の働きが生まれつき弱いために、骨格の症状（高身長・細く長い指・背骨が曲がる・胸の変形など）、眼の症状（水晶体（レンズ）がずれる・強い近視など）、心臓血管の症状（動脈がこぶのようにふくらみ裂ける、心臓の弁がうまく閉じない、など）などを起こす病気です。

以下の項目を確認し、当てはまる場合または、判断に迷われる場合は、専門家の受診をお勧めします。

記

- ・ 年齢や家系から想定されるよりも身長が高くなります。
- ・ 腕を左右に伸ばしたときの指先から指先までの長さが身長より長いことがあります。
- ・ 指は細長くなります。
- ・ 胸骨が変形して、外側に突出したり、内側にへこんだりします。
- ・ 関節が過度に柔軟になることもあります。
- ・ 扁平足、膝が後ろ向きに曲がる膝関節の変形、脊椎の異常な彎曲を伴う猫背（脊椎後側彎症）がよくみられ、ヘルニアも多くみられます。
- ・ 通常、患者には皮下脂肪がほとんどありません。
- ・ 口腔の天井にあたる口蓋が高いことがよくあります。

以上